

紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会

幹事会 まちづくり分科会通信

平成19年11月発行 第2号

基調講演「紀勢道整備に伴う広域的な地域連携とまちづくり」を開催しました。

平成19年10月18日（木）午後6時から、三重県尾鷲総合庁舎5階大会議室にて、基調講演を開催しました。

本幹事会の副幹事長である石坂督規三重大学人文学部准教授が「紀勢道整備に伴う広域的な地域連携とまちづくり」をテーマに、講演会が行われました。

講演会では、三重大学の学生アンケートの結果を踏まえ、「他者との問題意識の共有」「資源の固有化、サービスの質の高さを伝播」等の広域的な地域連携とまちづくりにおける方向性を論じられました。

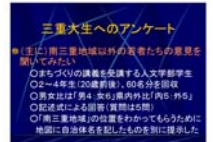
また、基調講演開始前には、本幹事会の幹事長である渡邊悌爾先生よりあいさつの言葉をいただきました。



基調講演終了後には、各分科会に分かれて、それぞれ活発な意見交換を行いました。



▲石坂先生の講演風景



▲基調講演の開催風景

『第2回まちづくり分科会』の概要

第2回まちづくり分科会の開催概要

<議論の方向性>

交流スタイルの合意形成とホスピタリティのあり方

<提供資料>

- ①新たな交流スタイルの方向性について
- ②ホスピタリティのあり方について

事前に資料を配布し、当日の分科会に望んでもらいました！

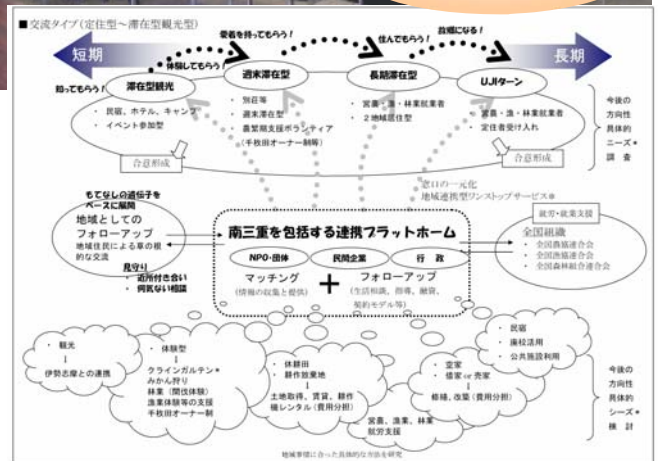
<分科会メンバーの主な検討事項>

- 交流スタイルの方向性の検討
- ターゲットとする世代、地域の設定
- ホスピタリティのあり方の検討
- 地域連携のあり方の検討



まちづくり分科会開催風景

交流タイプを分類し、新たな交流スタイルを検討しました！



■第2回まちづくり分科会の検討結果の報告

第2回まちづくり分科会では、

「地域固有のもてなしの遺伝子の発揮」をメンバーが考える方向性としてしました！

<観光の目的・メニュー>

- ・紀和町の温泉、観光。
- ・タクシーで花見、イルミネーション、ホテル（あすか）、かきつばた
- ・日帰り、一泊のメニュー。
- ・女性をターゲット、中高年のメニュー。
- ・年齢別の満足度調査
- ・小さなものを集めて商品化を進めては。
- ・地区の民謡を芝居にしているかどうか。
- ・リタイヤされた方、ゆっくり旅行、地元の食産物。
- ・出会いの場を提供している。

<紀勢道整備>

- ・高速完成前後の観光スタイル（時間が違う）
- ・メニュー別（山の観光、海の観光）
- ・目的地として南三重を意識。
- ・都会の料理のコピーではだめ。いなかの良さ（食事）
- ・「食」の情報発信がない。
- ・高速ができたなら名古屋、大阪 津～京都1時間。

<情報提供>

- ・観光公社の充実、情報発信。
- ・となり町のパンフレットもない。⇒地域連携が必要
- ・熊野三山（和歌山との連携）
- ・宣伝方法にひと工夫必要である。

<交流居住>

- ・観光と居住はスタンスが違う。
- ・居住⇒環境がよい。食べ物がおいしい。生活上の便利
- ・伊勢志摩から南三重へ来てもらえる。
- ・現状の生活改善⇒医療体制の改善
- ・高齢者⇒UIJ、若い人⇒教育問題
- ・受け入れの年齢、ターゲット⇒中高年60代前後

<道の駅の現状>

- ・大台町の道の駅⇒客がもどって来てくれる。良いものを売る。

<もてなし資源>

- ・地元の人々が、あいさつから。道をきれいにしていく。
- ・受け入れ側の教育。
- ・地区ごとのもてなしやアイデアのコンクール。
- ・トイレ、風呂がきれい。（例：白川郷）
- ・ホスピタリティ⇒地域の人が協力、話をしながら進めていく。納得できるもの。
- ・オープンガーデン（熊野市）、季節の花⇒観光
- ・語り部⇒高齢化
- ・若い人を教育する。⇒生活を保障する。
- ・やる気のある人、団体を育てる。

今後の方向性

分科会メンバーが考える方向性！

- 地域固有のもてなしの遺伝子の発揮

①地域ホスピタリティの実現方法を考える

- もてなしの遺伝子に基づく地域ぐるみのアプローチ
- 無理のないアプローチの検討

②滞在型交流の対象をどう捉えるかを考える

- 口コミ、地縁、可能なチャンネルからのアプローチ

③段階的な展開による活動の拡大

- 将来を見ずえてできることからアプローチ

今後の予定 ➡ 次回の分科会は、平成19年11月21日（水）に開催します

<主な検討内容>

- 滞在型交流の基本方針
- 地域ホスピタリティを形成するプラットフォームづくり
- 無理なく納得できる範囲のホスピタリティ など

意見を募集します！

まちづくり分科会以外の幹事様からも積極的な意見を募集したいと思います。

右記問合せ先まで

ご連絡下さい

● 問い合わせ・連絡先

紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会

<事務局>

東紀州観光まちづくり公社

<問合せ先>

□紀北事務所（担当：松田）

電話：0597-23-3784

FAX：0597-23-3785

E-mail：matsuk15@pref.mie.jp

□紀南事務所（担当：大崎）

電話：0597-89-6172

FAX：0597-89-6184

E-mail：oosaki@kassay.org